

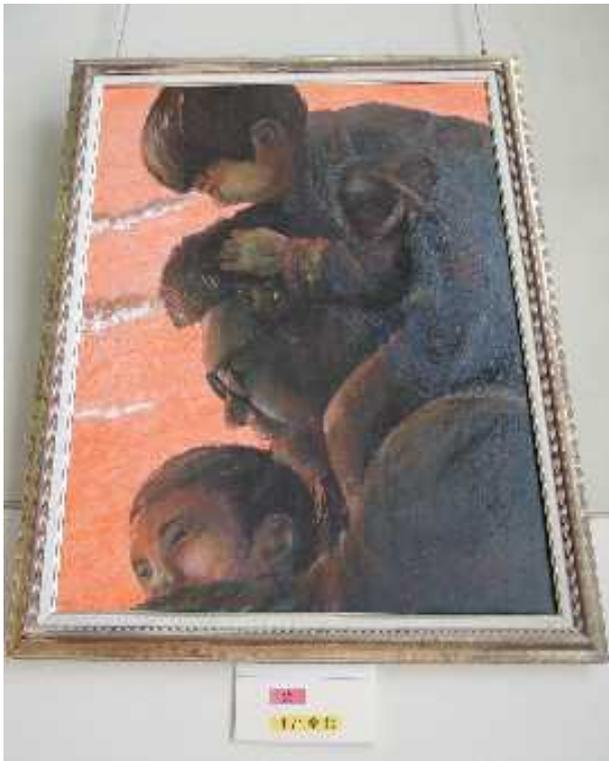


並木中等story

令和2年6月18日号

言葉が思うようにでないとお悩む人へ！

“自分から上手に話ができない。言葉が続かない”とお悩んでいる人はいませんか。私はかつて同級生から意見され、反発したくても思うように言葉が出ず、悔しくて泣いたことがありました。その時は、その悔しさを知り合いの人に話をしました。その時にいただいた言葉が、「誰でも得手、不得手、得意、不得意はある。苦手なものは、人より練習すれば良いだけ。得意なものなら練習が少なくてもいいだろう。苦手なものはそのままよしとしても、練習して克服してもいいのはいか。」というものでした。



私は、悔しい思いをした後、練習をしました。同じようなことがあったらどのように返すか、一所懸命、考えました。その後、同じようなことがありましたが、返せませんでした。再度、返す言葉を考えました。このようなことを繰り返すうち、一言二言は言えるようになりました。しかし同時に、言われても気にしなくなりました。悩んだ経験と時間、知り合いの人の言葉が私を育ててくれたのだと思っています。

「父」阿部幸代さんの作品
本校西側階段に掲示

《並木中等の感染防止対策》

- 昇降口でサーモグラフィ等を用いて体温を測ります 健康観察を行います
- 登校後も含め、機会あるごとに手洗いをします 各階に消毒液を設置します
- マスクを着用し、教員と生徒が近い場面はフェイスシールドを使用します
- 教室の両側の窓、ドアを一部開け、換気をします 今後、扇風機も設置します
- 生徒どうしが対面する授業は当面控えます